

学校における子どもの読書活動推進アクションプラン

はじめに

本市の学校教育がめざす子ども像は、「健やかな体・豊かな心・確かな学力を持つ、知性と品性のあふれる子ども」です。この子ども像の実現のために、わけても子どもたちに知性と品性を培うために、読書は大きな意味を持ちます。

市内各小中学校では、これまでも子どもたちの読書活動を推進するための取り組みを行ってきました。例えば、「朝読書」などの一斉読書は、現在すべての市立小中学校が実施しています。また、平成19年度には、本市を会場に開催された「第33回東北地区学校図書館研究大会」で、西小学校や第一中学校が先進的な実践を公開し、高い評価を得ました。また、桜田小学校は「授業における読書活動の推進」という提案を市委嘱公開研で広く発信し、注目を集めました。その他にも、各校がそれぞれの特色を生かしながら、子どもたちの読書活動の推進を図っています。

本プランは、こうした各校の実践に学びながら、学校における子どもたちの読書活動のさらなる推進に向けた具体的な取組を提案するものです。

プラン作成にあたっては、実現可能な取り組みであることに、特に留意しました。巻末に実践資料を付したのはそのためです。また、取り組みによって担当の先生方や学校全体が元気なるようなプランになることを心掛けました。

本アクションプランが各校の読書活動のいっそうの推進に寄与し、山形市の子どもたちの成長に資することを心より願うものです。

平成21年3月

山形市教育研究所

学校における子どもの読書活動推進のための調査研究員会

目 次

はじめに

I 学校における子どもの読書活動推進アクションプラン

1 読書活動推進のためのプラン

プラン1 「読書活動年間指導計画」の作成と運用	・ ・ ・ ・	1
プラン2 全校一斉読書の充実	・ ・ ・ ・	2
プラン3 児童生徒による委員会活動の活性化	・ ・ ・ ・	3
プラン4 児童生徒や教職員による推薦図書の紹介	・ ・ ・ ・	4
プラン5 各教科等における読書活動の推進	・ ・ ・ ・	5

2 魅力ある図書館づくりのためのプラン

プラン1 廃棄規準の整備と選書方法の改善	・ ・ ・ ・	6
プラン2 空き教室や廊下などを活用した分散配架	・ ・ ・ ・	7
プラン3 蔵書管理のIT化	・ ・ ・ ・	8
プラン4 司書教諭を中心とした学校図書館活用推進	・ ・ ・ ・	9
プラン5 市立図書館との連携強化	・ ・ ・ ・	10

3 連携による読書活動充実のためのプラン

プラン1 保護者やボランティアによる学校図書運営支援	・ ・ ・ ・	11
プラン2 保護者や地域ボランティアによる読み聞かせの実施	・ ・ ・ ・	12
プラン3 幼・保・小・中の連携による読書習慣の確立	・ ・ ・ ・	13

II プラン実施のための資料

1 読書活動年間指導計画例（提供：西小学校）	・ ・ ・ ・	15
2 読書活動推進の授業例～リテラチャーサークル～（提供：西小学校）	・ ・ ・ ・	21
3 図書購入参考資料～国語教科書の作品一覧（教育出版編）～	・ ・ ・ ・	27

I 学校における子どもの読書活動推進アクションプラン



「読書活動年間指導計画」の作成と運用

計画的・継続的に読書指導を充実させるために、読書活動を教育課程上に明確に位置づけ、児童生徒の実態に応じた「読書活動年間指導計画」を作成し、運用していきましょう。各学年の読書活動年間指導計画は、校内の図書館経営年間計画とそれぞれの学年のカリキュラムをもとにして、学年間のつながりや系統性も意識しながら作成します。年度初めにこれらの作業を行うことによって、学校図書館の蔵書からどのような図書を活用していけばよいのか、蔵書が不十分な場合にどのように対応していけばよいのか（新刊購入・公共図書館の利用）についても見通しを立てることができます。

図書館経営年間計画例 ○○小学校

月	主な活動	◎ お知らせコーナー ◇ 図書館だより ☆ 委員会活動	外部との連携
4	☆図書館のきまりを知ろう ・開館準備、利用割り当て ・利用のきまりの表示 ・貸し出し開始 ☆「こどもの読書週間」	◎「こどもの読書週間」に関わる本やニュースの紹介 ◇図書館利用の約束	○読み聞かせ会員募集
5	☆どんな本が読みたい？ ・図書購入希望調査、計画（子どもによる選書も含む）	◎郷土作家の本の紹介 ◇読み聞かせのすすめ、読み聞かせメンバーの紹介 ☆多読のすすめ（個人の目標冊数設定）	○読み聞かせ開始
6	・新本購入	◎季節・テーマ別展示	
7	☆本に親しもう ・新刊本配架、紹介 ・読書感想文の募集および指導 ・夏季	◎新刊本、課題図書の紹介 ◇夏季休業中の貸し出しについて	○図書館ボランティアによる新刊本のラバー・分類シール貼り作業
8	・図書		
9	☆本をた ・読書 ・読書		

読書活動年間指導計画例 ○○小学校

第6学年 読書活動に関わる年間カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		・お話ポケット ・親父読み聞かせの会	
5		・郷土作家の本を読む	
6			
7	・新しい世界を求めながら読もう 「ぼくの世界、きみの世界」 ・テーマを決めて本を集め、読もう	・テーマを決めて本を読む	
8			
9			
10	・人間を見つめながら読もう 「川とノリオ」 戦争をテーマにした本を読む	・おすすめの本の選定 ・戦争をテーマにした本を読む ・読書週間の案内	・物語が動き出す（図工） ・長く続いた戦争と人々の暮らし（社会） ・外部ボランティアによる素話りの会（学活）
11	・リテラチャーサークル 「読んで、話して、本の世界を楽しもう」 ・生き方を考えながら読もう 「田中正造」	・伝記、ノンフィクションなど人の生き方に関わる本を読み進める ・読書ゆうびん	
12	伝記、ノンフィクションなど人の生き方に関わる本を読む		

推進の
ポイント



実践の過程で変更した部分は、年間計画に赤で書き込み、修正を加えて次年度に引き継ぎます。

全校一斉読書の充実

全国の多くの学校で取り組み始めているのが、一斉読書の時間。朝や終わりの会の時間を利用して、全校の児童生徒が一斉に読書に親しむ時間を過ごします。課題図書を設定したり、また自由な本を持ち寄りながら、読書に親しむ有意義な時間です。

本を選ぶ時の工夫

児童生徒が「自主的に選ぶ本」だけでなく、学校として「ぜひ読んで欲しい本」もあると思います。どちらか一方に偏ってしまわないような本選びの工夫を紹介します。

子どもが選ぶ本だけでなく、学校として読ませたいと思う本もあるなあ。

自分から進んで本を読む人になって欲しいなあ。



「山形市内の中学校の実践から」

おすすめ方

- ① 学校指定図書を40種類（クラスの数）×40冊（学級の人数）用意します。
- ② 毎月初めに図書委員会が、学校指定図書を各クラスに分配します。
- ③ 朝読書の時間、生徒は配られた指定図書から読み始めます。指定図書を読み終わった生徒から、自分が用意した本を読むようにします。作品にもよりますが1週間程度で読み終えます。（月終わりに各クラスから本を回収し、次のクラスにローテーションします。）

指定図書(参考)

- ・ 走れメロス ・ 最後の一葉
- ・ 岳物語 ・ 鼻 ・ 高瀬舟
- ・ 宮沢賢治童話集 など

学年や生徒の意欲に配慮しながら選定。
各出版社からも一斉読書用の本が発売されています。

メリット

- 学校としてぜひ生徒に読ませたい作品に触れさせることができる。
- 自主的に用意した本も読めるので、意欲的な読書活動が継続できる。



一斉読書を充実させるために一斉読書のルールを考えてみましょう。

- ① みんなでやる
- ② 毎日やる
- ③ 好きな本でよい
- ④ ただ読むだけでよい

【参考】船橋学園女子高校（千葉県）の「朝読書のルール」より

児童生徒による委員会活動の活性化

読みたい本を自分で見つけて読む。家族や担任からすすめられて読む。本との出会いは様々だと思いますが、子どもにとって一番身近な友達からすすめられたり紹介されたりしたら、興味・関心を高くして「読んでみようかなあ。」となるのではないのでしょうか。図書館で仕事を進めてくれる図書委員を、学校での読書活動推進の担い手として捉え、読書啓蒙を図ったり、読書活動推進のためのアイデアを考えたりしながら、子どもによる子どものための読書活動の推進を考えていきます。

図書委員会の1年

- 4月** 図書委員オリエンテーション(仕事と心構え)
年間計画を立てる。
図書貸し出し準備
- 5月** 図書購入計画
(購入本のアンケート調査)
- 6月** 「春の読書旬間」の計画と実施
- 7月** 新規購入本の紹介
1学期の貸し出し冊数調べと多読賞の選定
図書整理
- 8月** 図書整理
- 9月** 全校読み聞かせの計画と準備
- 10月** 「秋の読書旬間」の計画
- 11月** と実施
- 12月** 2学期の貸し出し冊数調べと多読賞の選定
図書整理
- 1月** 図書整理
- 2月** 3学期・年間の貸し出し冊数調べと多読賞の選定
- 3月** 年間反省
図書・図書館整理

子どものリクエストによる本の選定

図書購入の際に、図書委員によるアンケート調査を行い、全校生から本のリクエストを募り、購入に生かしましょう。

新規購入本の紹介

新規購入本が到着したら、「図書委員会だより」などで、全校生に紹介してみましょう。お便りを見て図書館に向かう子どもたちの姿が増えるのではないのでしょうか。

おすすめの本の紹介

図書委員が書いた「おすすめカード」を、おすすめの本が並ぶ書架に置きましょう。本の貸し出しが進むのではないのでしょうか。

全校読み聞かせ

全校朝会の時間を利用して、全校生向けの読み聞かせを行います。手作りの大型絵本を使ったり、OHPやプロジェクターで映像を映し出したりして読み聞かせを行ってみましょう。

読書週間(旬間)を設定した図書委員会の活動

図書クイズ 図書室にある本の内容に添ったクイズを考えます。クイズの答えは、本を読むことによって見出せます。答え探しをしながら本を味わえます。

読書郵便 図書委員が作成したオリジナルはがきを使い、友達同士で本の紹介をし合います。図書委員は図書館設置のポストに投函された「読書郵便」を相手先に配達し、読書交流を図ります。

しおり作り 本のカバーなどを再利用してしおりを作ります。読書週間(旬間)の際の、多読者へのプレゼントにすれば、読書意欲につながるのではないのでしょうか。



推進のポイント

図書委員の仕事は、本の整理や書架の整頓、カウンター当番など、全校生に見えるような仕事ではありません。けれども、図書委員会には本が好きで集まってくる子どもたちが多く、目立たない仕事も一生懸命に行っています。そんな本好きで、本をよく理解している子どもたちは、読書活動の推進役にはぴったりだと思います。

全校生が本に親しむ機会をつくり、様々なアイデアを考えることで全校生を読書に導く。このような重要な仕事を担っているのだと、図書委員の子どもたちが自覚して活動を進めることはとても大切なことだと思います。

ここに上げた図書委員会の活動例を参考にして、委員会活動を活性化し、読書活動の推進を図っていきましょう。

児童生徒や教職員による推薦図書を紹介

子どもたちの読書離れが問題にされる昨今ですが、本が嫌いだという子でも、読んでもらったり話を聞いたりするのは大好きです。友達や先生など、身近な人からすすめられたり紹介されたりした本なら、なおさら興味を持ち「面白そうだな、読んでみようかな。」と手にとってみたくなるのではないのでしょうか。「人を通して、本と出会う」体験が、きっと子どもたちの本の世界を豊かに広げ、読書の楽しさを伝えてくれます。

山形市内の中学校の実践から 「読書の秋に、こんな本を読んでみない？」

●教師による「読み語り」

1. さまざまなジャンルの本を紹介することで、生徒の読書の世界が広がります。
 2. 生徒と教師が本を媒介にして感動を共有することでコミュニケーションが深まります。
- ・全ての先生方で、各学年のローテーションを組み、朝の読書の時間を使って読み語りをしましょう。
 - ・取り上げるジャンルは自由とします。その方が、バラエティに富んだ本が登場し、生徒達を飽きさせません。先生方が感動した本、中学時代の思い出の一冊、自分の子どもに読んであげた本、今話題の一冊などを探して紹介してみてもはどうでしょうか。
 - ・朗読だけでなく、その本との出会いや思い出話などを加えると、先生の本への思い入れが伝わり、子どもたちの興味関心が高まります。



●生徒による「オススメの本」の紹介や「本のショーウィンドウ」の作成と掲示

自分が読んだ本の中から、友達に勧めたい一冊を選んで紹介文や感想を書いて教室前廊下に展示します。「あの人こんな本を？」と、廊下が交流の場になります。平面の紹介シートの形だけでなく、この写真のように手にとって見られる立体的なカード（本のショーウィンドウ）形式での紹介も効果的です。



推進のポイント

「人を通して、本と出会う」を合い言葉に、読み語りは本の種類にこだわらず、特定の人に限らず、先生方全員の取り組みになるように呼びかけましょう。

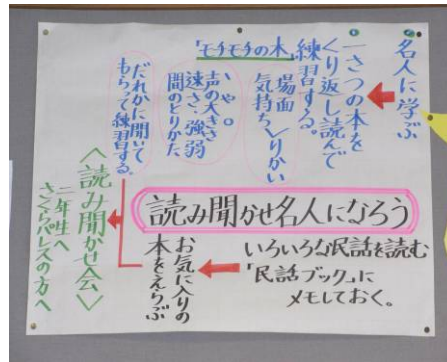
各教科等における読書活動の推進

国語科だけではなく、生活の中に読書活動を位置づけることが大切です。年間を通して、さらに6年間・3年間の系統性を考慮した読書活動の積み上げが生涯に渡る読書に親しむ素地づくりに役立ちます。また、例えば国語科の授業で音読したい本を選ぶために単元の導入段階から並行読書をし、たくさんの民話や詩集を読む学習活動は、読書の領域を広げることに大いに有効です。

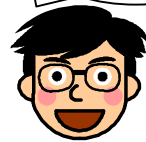
4年生国語の実践から 単元名「読み聞かせ名人になろう～『モチモチの木』の学習を通して～」

単元計画（第2次）「モチモチの木」を読む。

- ・「モチモチの木」を登場人物の気持ちや様子を想像しながら読み、話し合う。
- ・民話や斎藤隆介の作品を読みながら、「民話ブック」に書きためていく。
- ・読み取りを生かして読み聞かせの練習を行う。



ゲストティーチャーの読み聞かせ等も合わせて行うと、より効果的な学習ができます。



その他の教科等の実践例

小6年理科「からだのつくりとはたらき」
肺のはたらきや養分が体の中に取り込まれるしくみを調べるために、模型と一緒に人体図鑑コーナーを特設します。

小4年社会科「わたしたちの県」
山形県に興味・関心をもってもらうために、県内の算数・食べ物・遊び等に関する図書を集めて、単元の導入に読書会を開きます。

小6年図画工作「とびだす絵本の紹介カード」

おすすめの本を飛び出す絵本にし、紹介カードを添えます。



中3年総合「あの人の生き方に学ぶ～伝記を読んで、人間を知ろう」

自分の選んだ人物の人生を味わう体験を通して、人間の一生には、様々なことや出会いがあることを学びます。

推進のポイント



読書への関心を高める方法の一つに「リテラチャー・サークル」があります。それぞれの読みの視点から本の内容や登場人物等について話し合うことにより、一人で読み味わう以上に、本の世界に親近感をもつことができるようになります。

リテラチャー・サークル...教師が提示した本の中から同じ本を選んだ子ども同士がグループを組み、各人の役割にのっとった方法で読んだ後、話し合いをする読書指導の方法。

廃棄規準の整備と選書方法の改善

学校図書館が読書センター及び学習センターとして機能するためには、計画的に図書整備を行うことが必要です。これは、単に「学校図書館図書標準」を満たす冊数をそろえることではありません。子どもたちに社会の変化に応じた読書習慣や情報活用能力を身に付けさせるためには、意図的・計画的な図書更新（収集と廃棄）が重要になります。

図書更新をスムーズに行うために、「図書館資料選定基準」と「図書館資料廃棄規準」を整備し、選書方法の改善を図りましょう。

図書館資料選定基準（例）

小学校

学校における教育課程の展開に寄与し、児童の学習活動や健全な教養・レクリエーションに役立つ図書を選定する。

1. 内容

知識を得るための図書

- 1) 正しい知識、知見が述べられている
- 2) 内容、挿絵、写真、統計資料等が正確である

教養のための図書

- 1) 豊かな情操を育む内容である
- 2) 読書の楽しさや深い感動を味わうことができる

2. 表現

- 1) 児童の発達段階に即している
- 2) 常用漢字（必要に応じてふりがな）、現代仮名遣いを用いている



どんな学校図書館にしたいのか。めざす図書館像を描き、選定基準と廃棄規準をセットで整備します。

図書館資料廃棄規準（例）

小学校

一般規準

次のいずれかに該当する図書は廃棄の対象とする。

1. 内容・挿絵や写真・統計資料・活字や表記等が古くなったり、情報が正確なものでなくなったりした図書。
2. 利用頻度が著しく低い図書。

廃棄の対象としない図書

- 1) 郷土資料
- 2) 自校で発行した図書
- 3) 貴重図書
国語科の教科書教材として採用されている作品の作家・著者の図書は、安易に廃棄せず、まとめて配架し、活用を図る。

利用頻度が高く、破損が著しい図書は、新たに購入し交換する。

《運用上の留意事項

図書の廃棄にあたっては、校務分掌・図書館経営部を中心に、全職員で組織的に対応する。

備品図書の廃棄は、学校設置者が定める条例・規則等にしたがって行う。



作成のポイント

すでに整備している学校や全国学校図書館協議会等が作成したものをモデルに作成を進めます。ただし、あまり詳細なものにしないことです。選定・廃棄の作業がかえって困難になります。実際の作業は、校内組織で協議・協同して行いましょう。

「全国学校図書館協議会図書選定基準」

<http://www.j-sla.or.jp/shiryō/gaku5.html>

「全国学校図書館協議会 学校図書館廃棄規準」

<http://www.j-sla.or.jp/shiryō/gaku6.html>

空き教室や廊下などを活用した分散配架

授業、行事、部活動と忙しい時間をやりくりして、校舎の奥にある図書館に駆け込んでくる子どもたちがいる一方、それほど本に興味のない子どもたちにとって、図書館は遠い場所。どんなにいい本があっても、なかなか足を運んでくれません。そんな子どもたちにも「図書館にはこんな本があるんだ。見てみたい。読んでみたい。行ってみようか。」と思えるような工夫をしてみませんか。空き教室や廊下などを使って図書を分散開架して、本を目にしたたり手軽に触れたりする場所を増やしてみてもいいでしょう。図書館の出前コーナー、効果はバツグンです。

まず、人通りの多い場所に図書の展示コーナーを作りましょう

校舎の中で、空いている教室や廊下の棚など、展示に使いそうな場所を探します。できるだけ人通りの多く目立つ場所がお勧めです。廊下の隅や階段の踊り場なら、小さな机ひとつで立派な図書コーナーが生まれます。教室の前の廊下に、クラスの学級文庫があるのもいいものです。

手にとってみたくなるような本を並べましょう

- ・子どもの読みたい本を調査し、興味・関心を呼ぶ本、話題性の高い本などを把握しましょう。
- ・図鑑や地図、画集など大判で重くなかなか子どもが手に取らない9類以外の本も、展示コーナーで威力を発揮します。図書館にはこんな本があったんだと足を運ぶ子どもが出てきます。
- ・今、授業で学習していることに関連した本の紹介や、学活などで担任の先生が活用できる資料も展示しましょう。図書館と教科学習、図書館と学級の関わりが生まれます。

並べ方を工夫しましょう



- ・図書館の棚では背表紙しか見えない本も、表紙を見せて並べると新鮮で興味をそそります。壁にたてかけただけでも効果的です。
- ・コートカバーを活用し、帯もそのまま一緒にコーティングしてはどうでしょう。子どもたちが、本のカバーや帯にひきつけられて本を手取るようになればしめたものです。
- ・本の紹介文やポップ、パズル、クイズを貼るなど興味をひくための知恵を絞りましょう。クイズの答えは図書館に貼っておくといいですね。



推進のポイント

まずは、目につきやすい場所に本を置くことから始めましょう。

蔵書管理のIT化

膨大な量の蔵書をIT化することで、これまでのカード記入の手間が省け、短時間で読みたい本が借りられるようになります。また、返却が遅れている本も瞬時に把握でき、次の利用者を待たせることがなくなります。貸し出しの利用状況も数値化・グラフ化され、児童生徒への指導にも大いに役立ちます。

「山形市内の小学校の取り組みから」

3月から貸し出しをするためのバーコード化作業手順の一例

- P T A 総務委員会で作業の趣旨や今後の進め方について説明をする。(11月22日)
- 図書室を休館し、本の貸し出しを中止する。(12月1日)
- 廃棄する図書の選定を図書館担当者が行う。(12月上旬～下旬)
- 保護者へ蔵書バーコード化作業協力をお願いのプリントを配付する。(12月6日)
- バーコード化作業協力者を決定する。(12月15日)【この後でも、追加も受け付けた。】
- バーコード化作業マニュアルを完成する。(12月20日)
- 教職員による冬休みバーコード化作業・研修会を行う。(12月27日・28日)
- 保護者向けバーコードボランティア研修会を開催。(上学年：1月11日、下学年：1月13日)
- 保護者バーコードボランティア作業を行う。(1月16日～2月28日終了)
- 午前の部 9:30～11:30、午後の部：13:30～15:30
- 教職員は、クラブのない木曜日の6校時に、低・中・高学年ごとローテーションで参加する。
- 作業日誌を付け、作業の進捗状況や引き継ぎ事項、連絡等をとる手段とした。
- 最後に、古くなった図書や長い間貸し出しされていない図書をもう一度廃棄する。

蔵書IT化のメリット

- ・個人や校内の読書活動の実態把握が簡単にできる。
- ・貸し出し傾向の把握ができ、単元導入前の対策や単元学習後の経過観察等に役立つ。
- ・図書委員の子どもたちが検索に協力することができ、利用者の便宜をはかれる。
- ・本の予約貸し出しが可能になった。



推進のポイント

蔵書のバーコード化に伴い、書架ごとに色違いのシールを貼ったり、さらに棚ごとに番号を付けたたりして、本が見つけやすいように書架に工夫をこらしましょう。

蔵書IT化による機能一例

集計作業が即座ででき、必要な情報を簡単に手に入れることができます。

(人気作家 ベスト10)

2007年02月28日 1頁

順位	回数	登録番号	書名	著者名	分類
1	40	0000013028	マリー・アントアネット	木村尚三郎 監修 千明初美(2)	歴史
2	37	0000013031	マリー・ローランサン	阿部良雄 監修 千明初美(2)	歴史
2	37	0000000741	レーナ・マリア	あべさより 作 (2)	歴史
4	36	0000013033	ジョイ・アダムソン	藤原英司 監修 高瀬直子(2)	歴史
4	36	0000013053	クレオパトラ	吉村作治 監修 千明初美(2)	歴史
4	36	0000020151	カルネツソロリのじごくりょう	原ゆたか 作・絵	(9) 文学
7	35	000002051	心霊写真レストラン	怪談レストラン編集委員会	(9) 文学
7	35	0000020914	天然水のひみつ	望月恭子	(5) 技術
7	35	0000005456	サイダーのひみつ	外山準一 構成 田中久志(5)	技術
7	35	0000005463	宅配ピザのひみつ	佐藤守	(5) 技術

司書教諭を中心とした学校図書館活用推進

新学習指導要領のもとでは、学校図書館は欠くことのできない「まなびの場」になっていくことでしょう。各学校においては、学校図書館の読書センター機能と学習・情報センター機能のますますの充実が望まれます。その鍵を握っているのが、司書教諭の皆さんです。司書教諭が力を発揮するための条件整備はまだまで、学級担任や他の校務分掌を持ちながらのたいへんな仕事ですが、校内の先生方や他校の司書教諭の先生方と手を携えて、元気な学校図書館をつくっていきましょう。学校図書館活用推進のために、次のような点に取り組んでみましょう。

1. 学年・学級・教科の年間指導計画への図書館活用の位置づけを、積極的に呼びかけましょう。

学校図書館活用の推進のポイントの一つが「授業で活用すること」です。まずは多くの先生に、授業で学校図書館を使ってもらう。そして、使ってみての先生や子どもたちの声を図書館づくりに取り入れていく。それこそが「使える学校図書館づくり」のための最良の方法です。

そのためにも、年間指導計画の中に図書館の利用を位置付けてもらいましょう。また、予定がかち合ってせっかくの意欲に水を差すことのないように、年間を通したおおまかな調整を行うとともに、図書館を予約するための具体的な手続きを年度当初に示しておきましょう。



2. 使える図書館づくりを具体的に進めるための組織をつくりましょう。

「思いはあるのに、他の仕事があつてなかなか…」というのが多くの司書教諭の皆さんが置かれている現実でしょう。このような状況の中で図書館づくりを進め、図書館活用を推進するためには、他の人と協力して仕事を進めることです。

何と言っても日常的な図書館運営の担い手である図書整備員の方との連携を密にします。忙しい中ですが、週に1回30分でも、定期的な打合せの時間を確保しましょう。さらに校内の先生方や委員会活動の児童生徒、さらにPTAやボランティアの方など、各校の状況に応じてアイディアを生かして組織づくりを進めていきます。



3. 取り組みを発信し合ひましょう。

まずは司書教諭自身が学校図書館を活用してみましょう。校内授業研で授業者になったときには、学校図書館を活用した授業をしてみませんか？また、コミュニケーションシステムを使えば他校の司書教諭とメールで情報交換が可能です。作成した資料や図書館の写真など、交換してはいかがでしょうか。



推進のポイント

志を同じくする仲間が一人でもいれば、人は困難な状況の中でも頑張れるもの。そして仲間が3人になれば、「組織」として、やれることはぐっと増えます。まずは二人、校内に仲間をつくりましょう！

市立図書館との連携強化

各学校の図書館と市立図書館がネットワークを構築して、ハード面やソフト面での連携が図られていくことは、子どもたちの学習活動がより一層の広がりをもち、深化していくとともに、読書活動の推進においては、生涯読書につながるものと考えられます。

情報ネットワーク

ネットワークを活用した蔵書データ・資料の検索

学校と市立図書館のネットワーク化を利用し、図書館の蔵書検索や資料検索を行ってみましょう。市立図書館の蔵書データは、学校からインターネットを通して検索できるようになっています。市立図書館に出向いて本を探さなくても、データベースから本を検索することができますので、学校にいながらにして必要としている本を探することができます。

また、市立図書館にある資料検索もできますので、インターネットを通してデータを手入れすれば、学習活動に有効に生かすことができます。

ネットワークでつながっている市立図書館は、学校の第2の図書館であるとともに、膨大な資料をタイムリーに提供してくれる情報センターでもあります。



物流ネットワーク

市立図書館の本を学校や学級単位で利用する。

市立図書館の本は、学校や学級単位で借りることができます。市立図書館には、市内にある全ての小中学校の「貸し出しカード」が準備されています。一度の貸し出しで、上限200冊、期間は最長一ヶ月（延長は要相談）まで借りることができます。学習に活用するために、シリーズ（ジャンル別・作家別など）で借りたいときなどに便利です。借りたい本のリストを作成して市立図書館に事前にお願ひしておくと、準備しておいてくれます。

「リサイクル本」を活用する。

市立図書館では「リサイクル本」と称して、蔵書整理のときの廃棄本（リサイクル本）を年に1回、一般の方々や幼稚園、保育園、学校に分けてくださるシステムがあります。（9月頃にあり、一ヶ月前に校長宛に案内が届きます。）廃棄本の中には、書店では手に入りにくい本もあり、手に入れられればお得です。学級文庫などに活用してもよいし、校内の空きスペースに置き、ミニ図書館として活用してもよいのではないのでしょうか。

人材ネットワーク

図書館司書・ボランティア団体（きき耳の会・くまさんの会）の方々との連携

市立図書館の司書の方やボランティア団体のメンバーの方々との人的なネットワークの形成は、より専門的で、より豊かな読書活動を進めていく上で大切なことだと考えます。

司書・ボランティア団体の方々は、学校の要望に応じて学校での「おはなし会」を計画してくださいます。先生方とは違った本へのアプローチを行っていただけたらと思います。

また、司書・ボランティア団体の方々を中心になって作っている「おはなしクラブ」では、毎週土曜日にブックトークが行われています。素語りや読み聞かせ、本の紹介、工作など、子どもたちが本に親しむための内容が満載です。

図書館や読書に関することで困ったことがあれば、市立図書館の司書の方が、わかる範囲で応えてくださいます。調べ物のレファレンスについても丁寧に教えてくださいます。



推進のポイント

市立図書館との連携を図るには、まずは連絡を取ってみる事です。読書活動推進のためのアイデアが、どんどん広がっていくことでしょう。



保護者やボランティアによる学校図書館運営支援

読書好きであることは、生涯学習社会において、とても大切な力となります。読書習慣が身に付いている子どもには、読書の楽しさや、本の素晴らしさに誘ってくれた身近な大人の存在があるものです。保護者の方や地域のボランティアの方で、読み聞かせをはじめとした様々な読書活動に協力的な方も増えてきています。図書の貸し出し、配架、館内の装飾などの図書館業務も、図書整備員や司書教諭の手だけでは追いつかないのが現状です。とりわけ、中学校にあっては、放課後の鍵のかかっている図書館は寂しい限りです。放課後の一時、図書館で自由に本が読めたり、図書館にいるボランティアの方と談笑したりできたら、どれほど子どもたちの心がいやされるでしょうか。ぜひ、放課後の居場所づくりにチャレンジしてみませんか。

PTA活動例 「大人と子どもがつながる『読書』交流サロン」

1 ねらい

- (1) 放課後の図書館で図書館業務をしながら、児童生徒の話し相手になることで、大人と子どもの交流機会をもちます。
- (2) 本の読み聞かせボランティアや、図書館のスペース内で趣味の作品の個展による環境美化を通して、児童生徒の憩いの活動や空間づくりを行います。

2 日時

- (1) 毎月第2水曜日の定時退校日の放課後午後3時30分から4時45分
- (2) 朝の一斉読書 午前8時20分から8時40分(協力可能な日)
- (3) 昼休み時間 午後1時15分から1時35分(協力可能な日)

3 活動内容と分担

- (1) 司書教諭や図書委員と一緒に貸し出し、配架作業を行います。
- (2) 図書館にある本を使った読み聞かせや子どものおしゃべりをします。
- (3) イラストや工芸、写真など得意な方の作品を個展風にディスプレイとして飾ります。
- (4) 手作りしおりを児童生徒との共同作業で作り、来館者用に配布します。
- (5) 図書館便りの中に、交流サロン情報を掲載し、読み聞かせタイムやミニ個展の計画を紹介し、児童生徒をはじめ広く保護者にも活動を発信します。(興味のある保護者を募集します。)
- (6) 朝の一斉読書時間や昼休み時間の図書館で、学級単位や来館者への読み聞かせをボランティアで行います。
- (7) 書店のディスプレイやボード活用の表示など専門家を呼んで研修し、図書館の環境整備を進めます。



推進のポイント

本好きで、お話好きで、創作趣味をお持ちのお父さんお母さんの協力を呼びかけましょう。先生ではない大人と会話できるスペースづくりが、子どもを支える地域連携の第一歩です。



保護者や地域ボランティアによる読み聞かせの実施

夜、寝る前にお父さんやお母さんから絵本を読んでもらったり、休日に図書館で開かれる「お話会」に参加したりと、小さい頃から本に親しんでいる子は、読書習慣が自然と身に付き、読書が当たり前のよう生活の一部になっています。子どもたちが読書に親しむ機会をつくり、読書を習慣づけていくには保護者や地域の方々の方も大きく働いていくものと考えます。



小学校での保護者による読み聞かせの活動例

きっかけ

この小学校では、2000年9月に保護者による読み聞かせが始まりました。幼稚園でも絵本の読み聞かせをしていた経験を生かして、お子さんの入学を機に、小学校でも読み聞かせをしてみたいという思いが、小学校で読み聞かせをするきっかけになりました。この小学校では読み聞かせの会を「お話の会」と呼んでいます。

会の発足とあゆみ

有志によるお話の会

幼稚園で読み聞かせをしていたお母さん方数人が、「子どもたちに本を読んであげたい。」と担任に申し出てくださり、まずは1年生、各クラスでの読み聞かせが始まりました。

お話の会の広がり

1年生での読み聞かせがきっかけとなり、兄弟がいる学年へと読み聞かせが広がっていきました。毎週1回水曜日の8時30分から45分までの15分間が、読み聞かせの時間になりました。

全校に定着したお話の会

読み聞かせの中心になってくださっている保護者が、「お話の会」が立ち上がっていない学年の保護者に働きかけて、協力の呼びかけから会の立ち上げまで、親身になり世話をしてくださり、全学年での読み聞かせの活動が始まりました。

保護者による読み聞かせの実際

活動時間

朝の8時30分から45分までの15分間で、読み手がセレクトした絵本（紙芝居）を読みます。お仕事をお持ちの保護者は、出勤前に読み聞かせを行ってくださることもあります。

メンバー

クラスによって、人数の違いはありますが、6～7人ぐらいの方々が毎週交替で読み聞かせを行います。お互いに都合をつけながら進めています。学期に1回、年に1回という協力も大歓迎です。

情報交換

読み手がセレクトした本（紙芝居）が繰り返し使用されないように、クラス毎にノートを準備して、読んだ本の情報と読んでみての感想やその日の子どもたちの様子を記録します。ノートは回覧され、情報交換がなされます。

保護者や地域ボランティアの方々による、子どもたちへの読み聞かせを推進していくためには、学校と保護者、地域、三者の互いの理解と協力連携が鍵になってくると考えます。三者が、子どもたちの読書の推進を図る意味をよく理解し、互いの立場からできることを考え、実践・継続していくことが大切です。



推進のポイント

幼・保・小・中 の連携による読書習慣の確立

本好きな子どもにするためには、幼い頃からの読み聞かせなどをはじめとして、様々な形で読書習慣を身に付けていくことが大切です。そのために、幼稚園や保育園・小学校・中学校のそれぞれが連携していく必要があります。

幼・保・小・中 それぞれの図書室をつなげよう！

同じ学区にある学校の図書室の蔵書録を、幼・保・小・中のそれぞれが把握していると、いろいろな場面で話題とすることができるでしょう。図書購入の際にもそれぞれの司書担当者が打ち合わせを持ちながら購入書籍を決めることで、長期的な読書計画を実現することが可能になります。また、授業で使う本の数量が足りない時、互いの学校間での貸し出しなどを行えるよう整備しておくとう便利です。

それぞれの学年間・学校間での交流を

教室で6年生に紙芝居を読んでもらった、そんな小学校1年生の時の体験が、本やお話に対する興味を育むことがあります。小学生が幼稚園に行って、中学生が小学校や幼稚園に行って、交流をしながら紙芝居を読んであげたり物語を読み聞かせしたり...そういう体験を多く重ねてみましょう。



(中学校の家庭科や総合学習の授業の中で、保育園児や小学生とふれあいます。手作り絵本に一生懸命見入っています。)



推進のポイント

異学年・異世代の交流が、読書への興味を喚起するきっかけになることもあります。

幼・保・小・中の連携を深め、読書交流会などをするのも面白いですね。

Ⅱ プラン実施のための資料



第 1 学年 読書活動に関わる年間カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4	日本むかし話（DVD）	・読み聞かせ（おはなしポケット） （おやじ読み聞かせの会）	
5			・図書館へ行こう（学活） 図書館のきまりや利用の仕方を知る
6		・虫が出てくる絵本や図鑑をしてみる	・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ
7	・本となかよくなるろう 「大きなかぶ」 「おはなしのくに」へ出発 昔話や世界のお話を読んでみる	・セタの本 ・日本の昔話・世界のお話	・本のアンケート（学活）
8			
9			
10	・本となかよくなるろう 「おはなしどうぶつえん」 動物の出てる本を読んで紹介する	・おすすめの本紹介 ・読書郵便 ・動物が出てくる本	・大きくなあれ（生活科） ・秋とあそぼう（生活科） 「14ひきのあきまつり」 ・お話の絵（図工）
11	・のりものずかんをつくろう 「はたらくじどう車」	・乗り物の本 ・読書週間の案内	
12	・読書へのアニメーション	・クリスマスや冬の絵本	
1	・読書へのアニメーション	・お正月の絵本	・むかしのあそびを楽しもう（生活科）
2		・鬼の絵本	
3	・本となかよくなるろう 「お手がみ」 アーノルド＝ローベルの本を読む ↓	・春の絵本 ↓	

第 2 学年 読書活動に関わる年間カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常的な読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（お話ポケット） （おやじ読み聞かせの会） ・詩の暗唱 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ行こう 色々な本を探す 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・順序に気をつけて読もう 「すみれとあり」「鳥のちえ」 生き物の本を読む 生き物の知恵を調べて紹介する 		<ul style="list-style-type: none"> ・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ
7		<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの本（飼育・採集） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書アンケート（学活）
8			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを見つめて読もう 「きつねのおきやくさま」 あまんきみこさんの本を読む 	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの本を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生への読み聞かせ
10		<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間の案内 ・おすすめの本紹介 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの図鑑を作ろう 〇〇のふしぎ ・図書館へ行こう 簡単な分類と配架場所を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの本 ・読書郵便 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・本の世界を楽しもう 昔話を読む「かさこじぞう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話の本 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話びじゅつかん（図工） 読書感想画 ・読書活動（ダウトをさがせ・並び替え）
1		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事に関する本 （お正月・昔遊び・おひな様） 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬を楽しもう（生活科） 「びゅんびゅんごまがまわったら」
2	<ul style="list-style-type: none"> ・心のつながりを読もう 「アレクサンダとぜんまいねずみ」 レオ＝レオニ作品を読む 「わにのおじいさんのたからもの」 		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなだいすき（生活科） 「赤ちゃんってね」 「あなたが生まれた日」
3			

第 3 学年 読書活動に関わる年間カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		<ul style="list-style-type: none"> ・アンデルセンの本の紹介 ・読み聞かせ（お話ポケット） （おやじ読み聞かせの会） ・詩の暗唱 	
5		<ul style="list-style-type: none"> ・土田義晴さんの本を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい世界（図工）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・だいじなことを見つけながら読もう 「めだか」「森のスケーターやまね」 ・目次をひらこう 目次について知る。 目次で調べる方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の本や生き物図鑑を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ ・見つけよう！ユニバーサルデザイン （総合）
7			<ul style="list-style-type: none"> ・読書アンケート（学活）
8			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・願いを受け止めて読もう 「わすれられないおくりもの」 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本を探して読む。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読もう ①外国の作家の物語 ②山形生まれの作家の物語 ③冒険の物語 ④学校が舞台の物語 3年生が登場する物語 ⑤不思議な物語 ⑥動物が出てくる物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーザン・バーレイの本 土田義晴の本 浜田広介の本 最上一平の本 荒井良二の本などを読む。 ・読書週間の案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の絵（図工） ・本当の助け合い（総合）
11		<ul style="list-style-type: none"> ・読書郵便 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・本の世界を広げよう ～読書へのアニマシオン～ 「読書クイズ」をしよう 「のらねこ」 「ゼロひきのゴーシュ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治の本 富安陽子の本 斎藤 洋の本 斎藤隆介の本 リンドグレーンの本 アトリーの本 シャーマットの本などを読む。 	
1		<ul style="list-style-type: none"> ・絵文字や記号の本 	
2			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・心の通い合いを読もう 「おにたのぼうし」 	<ul style="list-style-type: none"> ・おにが登場する本を読む。 ・あまんきみこの本を読む。 	

第4学年 読書活動に関わる実践カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（お話ポケット） （おやじ読み聞かせの会） ・詩の暗唱 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを想像して読もう 「やい、とかけ」 		
6			<ul style="list-style-type: none"> ・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ
7			<ul style="list-style-type: none"> ・読書アンケート（学活）
8			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・願いを想像して読もう 「一つの花」 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争に関係する本 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・本の世界を広げよう 「アジアの笑い話」 お笑い掲示板を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本紹介 ・読書週間の案内 ・「笑い」に関する話題や本を紹介し合う（ブックトーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな友だち（総合・国際交流） 外国の物語にふれる
11		<ul style="list-style-type: none"> ・読書郵便 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想画（図工）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな詩と出あおう ・昔のことを調べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の本の紹介 ・昔のことについて書いてある本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具や地域の行事について調べよう（社会科）
1			
2		<ul style="list-style-type: none"> ・伝記を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の発展に尽くした人（社会科）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・読書へのアニメーション ・心の通い合いを読もう 「ごんぎつね」 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物と人間の登場する物語 ・新美南吉の作品を読む 	

第5学年 読書活動に関わる年間カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		・読み聞かせ（お話ポケット） （おやじ読み聞かせの会）	
5			
6	・内容を的確に押さえながら 「季節の中で」 いろいろな詩を読み比べる		・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ
7	・生き方を見つめて読もう 「大造じいさんとがん」 椋鳩十の作品を読む	・椋鳩十の他の作品を読み進める	・読書アンケート（学活）
8			
9		・感想画の本選定	・心広がる場面（図工） 読書感想画 ・学習発表会に向けて 「日本語の楽しさを伝えよう」（総合）
10	・読書へのアニマシオン 「土曜の午後はフンファンパーティー」	・読書週間の案内 ・おすすめの本紹介	
11	・本の世界を深めよう 「雪わたり」 宮沢賢治の作品を味わう。	・賢治の他の作品を読み進める ・読書郵便	
12			
1	・読んで、話して、本の世界を楽しもう リテラチャーサークル		
2	・方言のお話を味わおう 「方言とアクセント」 ・生き方を考えながら 「みすゞさがしの旅」 金子みすゞの作品を読む。	・金子みすゞの他の作品を読む。	「星とたんぽぽ」（音楽）
3			

第 6 学年 読書活動に関わる実践カリキュラム

月	国語の学習活動（読書関連）	日常の読書活動	その他の教科での活用・関連の本
4		・読み聞かせ（お話ポケット） （おやじ読み聞かせの会）	
5	・心を見つめて読もう 「美月の夢」	・12歳をテーマにした本を読む	
6	・新しい世界を求めながら読もう 「ぼくの世界、きみの世界」 ・テーマを決めて本を集め、読もう	・テーマを決めて本を集め、読む	・お話の会（学活） 外部ボランティアによる読み聞かせ
7			・読書アンケート（学活）
8			
9			
10	・人間を見つめながら読もう 「川とノリオ」 戦争をテーマにした本を読む	・おすすめの本の選定 ・戦争をテーマにした本を読む ・読書週間の案内	・長く続いた戦争と 人々の暮らし（社会）
11	・読んで、話して、本の世界を楽しもう リテラチャーサークル ・本の世界を深め、ブックトークをしよう 「きつねの窓」	・テーマに合った本を読み、自分の意見や考えを持つ ・読書郵便	・物語が動き出す（図工）
12	・テーマに合った本を読み、自分の意見や考えを持つ		
1	・生き方を考えながら読もう 「田中正造」 伝記、ノンフィクションなど人の生き方に関わる本を読む	・伝記、ノンフィクションなど人の生き方に関わる本を読み進める	
2			・卒業に向けて（総合）
3			↓

第 6 学年 国語科学習指導案

1 単元名

読んで 話して 本の世界を楽しもう ～リテラチャー・サークル～

2 単元の目標

- (1) 役割を分担しながらさまざまな視点で本を読んだり、読後に友達と話し合ったりする活動を通して、本の魅力や読書の楽しさを実感し、進んで本を読もうとする意欲をもつことができる。
- (2) 自分の思いや感じたことを相手に伝わるように話したり、話し合いの話題や方向をとらえて聞いたりすることができる。

3 子どもと単元

子どもについて

これまで、椋鳩十や宮沢賢治の作品の魅力にふれたり、リテラチャー・サークルを一度経験したりしたことをきっかけに、読書への関心が高まってきている。また国語教材と関連して、自分でテーマを決めて本を選び読書をしてきた。読書冊数や読み取る量に個人差があったり、特定のジャンルの本だけを好んで読む子どももいたりするが、以前より読む本のジャンルは広がりつつある。

自分の思いや考えを表すことができるように、グループごとのディスカッションや朝のスピーチを継続しており、相手意識をもって話したり聞いたりすることができるようになってきている。

教材について

リテラチャー・サークルとは、アメリカのダニエルズらが開発した、ディスカッショングループを用いた読書指導の方法である。教師が提示した本の中から同じ本を選んだ子ども同士がグループを組み、それぞれの役割にのっとった方法で読んだ後、話し合いをする。そこで、それぞれの読みの視点から本の内容や登場人物などについて話し合うことによって、一人で読み味わう以上に、本の世界に親近感をもつことができるようになる。また、進んで話したり共感的に聞いたりする力を高めることができる。

指導について

単元のはじめに、生活や生き方などのテーマを決めて読書をした経験や、これまで自分が読んできた本のジャンルを振り返らせ、「もっとジャンルを広げて読んでみよう」という意識をもたせる。グループを構成する時も、その意識や興味・関心をもとにして読む本を選ばせていく。

役割ごとの読みの後、話し合いでは「友達の話共感的に聞く」という意識をもたせ、全員が伸び伸びと話すことができるようにしていく。なお、話し合いの中では、本の内容や登場人物などについてだけでなく、本のテーマに迫る部分にも気づくことができるようにしていく。終末では、自分なりにとらえたその本の魅力を話し、よさを再確認させる。

その本の魅力をみんなで語り合い、その本に出会えた感動を共有することは、読書が一層好きになって次の読書へつながっていくものと考えている。

4 全体計画（総時数 6 時間）

- 自分達の読書経験を振り返り、読みたい本を決め、グループをつくる。・・・・・・（1 時間）
- 役割を分担して本を読み、それぞれの役割の視点で本について話し合う。（5 時間 本時 5 / 5）

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・ 役割を分担しながらさまざまな視点で本を読み、本の内容や登場人物・魅力やテーマにそってひたむきに話し合うことができる。

(2) 学習過程

学 習 活 動	・留意点 ○支援 ◇評価
1 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割は前時に決めさせておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 読んで、話して、本の魅力にせまろう。 </div>	
2 本を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割にそって見つけた場面や言葉などに、付箋をつけながら読むようにさせる。 ○ 話し合いの軸となりそうな部分に付箋をつけた子どもには、どのような考えでそこに着目したのかを聞くようにする。
3 役割ごとに、場面や言葉・思ったことなどを役割シートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの軸になる話題につながりそうな事柄を書いている子どもを把握する。
<p>【役割分担】</p> <p>「言葉屋」「段落屋」 「質問屋」「つなぎ屋」 「イラスト屋」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◇ 自分で見つけた場面や言葉・思ったことなどを役割シートに書くことができたか。 </div>
4 それぞれの役割の視点から話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いでは、共感や補足だけでなく、違った考えや思いも伝え合うようにさせる。 ○ テーマに迫る場面や深く考えさせたい場面になるので、グループの話し合いの状態に合わせて、助言する。 ・ 本のテーマや魅力にかかわって感想を出し合うことで、この本に出会えた感動をグループの友達と共有し合うようにさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日読んだ場面について ・ その本について 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◇ 本の内容や登場人物・魅力やテーマにそって、相手意識をもって話し合うことができたか。 </div>

リテラチャーサークル (Literature Circle) とは

リテラチャーサークルとは、アメリカ・シカゴの公立学校の元教師で読書教育の研究者であるダニエルズ (Daniels) らが開発した、ディスカッショングループを用いた読書指導の方法です。このリテラチャーサークルは、アメリカの国語教育で幅広く行われている「reading workshop」の多くの方法の一つに位置づけられ、アメリカでは教員養成の教科書にも掲載されるほどポピュラーな指導法だそうです。

新潟大学の足立幸子准教授が以下のように概略を説明しています。

教師がクラスで紹介した数種類の本のうち読みたい本1冊を子どもが決め、その本ごとに3～5人のグループをつくる。グループでは、子どもたちがそれぞれ担当の役割を決め、読む分量を決め、役割にのっとった方法で読んできて、後で話し合う。役割とは、例えば、読んで浮かんできた質問を提出するクエスチョナー、本の中の話と現実にあったことを結んで話すコネクター、本を読んで得たイメージを絵にかいてみるイラストレーター、優れていると思った表現を取り出して発表するリテラリー・ルミナリーなどである。これらの役割読みをグループで出して共有することで、それぞれの読みを深めていく。一つの役割は一人で受け持つので、子どもたちは自分の経験に基づいた自分なりの読み方を、グループの子どもたちと共有することが求められる。シカゴの多様化する現実にあった読み方を教えながら、その子の読み方を奨励し、その子の考え方を理解していこうとする、多声に耳を傾ける指導となっている。そのためLC の評価点の半分は、積極的に話し合いに参加し、自分の考えを話し相手の声も聞くというコミュニケーションについての点である。
(「アメリカの言語教育における二つの方向性と読書指導の実際」... 『ことばの学び』vol5 三省堂)

リテラチャーサークルの進め方

1. 教師はあるテーマに基づいて、本を用意します。(グループの人数分)
2. 子どもたちは、教師から紹介されたの中から、自分が読みたい本を選択し、その本を選んだ者同士で少人数のグループをつくります。
3. 各グループごとに読むペース、役割の順番などの学習スケジュールを立てます。
4. そのスケジュールに従って、子どもたちは決めた範囲を読み、それぞれの役割のシートに書き込んで、ディスカッションの準備をします。

役割とは、例えば以下のようなものです。

コネクター (つなぎ屋)

本の中に書かれていることと現実の世界にあることを結びつける

クエスチョナー (質問屋)

読んで浮かんできた質問・疑問を提出する

イラストレーター（イラスト屋、イラストレーター）

本を読んで得たイメージを絵にかいてみる

リテラリールミナリー（段落屋、いいところ捜査隊、場面屋）

優れていると思った表現、大事だと思った箇所を取り出して発表する

ワードウィザード（言葉屋、ことば集め職人）

文中の「特別な」ことばを見つけて紹介する

等

ダニエルズは、優れた読者がおこなっている方略をもとにしてこれらの役割をつくりました。本を読んで役割シートに書き込む作業を通して、優れた読者の読書方略を体験し身に付けることができるように構成されています。

《ダニエルズによる「6つの読書方略」》

1. 読んだことを何かに結びつけること
2. 疑問を持つこと
3. 目に見えるように思い浮かべること
4. 推論すること
5. 重要なことは何かをとらえること
6. 統合すること

5. 書き込んだ役割シート（＝一人読みの成果）を持ち寄って、小グループで自由にディスカッションをします。
6. ディスカッションが終わったら、自己評価を行い、次回の読む範囲、役割を確認します。役割は毎回変わります。つまり全員がすべての役割を体験するようにします。
7. 以下それをくり返して1冊読み終えます。
8. 読み終えたらそのグループは解散し、また読みたい本を選択して、新しいグループが結成されます。

【補足】

- ・ 教室は、楽しく、居心地のよい雰囲気です。
- ・ 教師の役割は、グループのメンバーでも、インストラクターでもなく、ファシリテーター（世話人・手助けする人）です。
- ・ 評価は、子どもの自己評価と教師の観察評価になります。

リテラチャーサークルの実践から得たもの

山形市立西小学校

1. リテラチャーサークルとは

アメリカのダニエルズらが開発した、ディスカッショングループを用いた読書指導の方法。教師が提示した本の中から同じ本を選んだ子ども同士がグループを組み、それぞれの役割にのっとりた方法で読んだ後、話し合いをする。そこで、それぞれの読みの視点から本の内容や登場人物などについて話し合うことによって、一人で読み味わう以上に、本の世界に親近感をもつことができるようになる。また、進んで話したり共感的に聞いたりする力を高めることができる。

2. 授業の実際

45分授業の基本的な流れ

読む：15分（およそ20pをめぐり）

書く：10分（書くことが大事なのではなく、どこに目を付けたかが大事）

話し合う：15～20分

*これを5時間繰り返し、1冊を読み切る。

3. 本の魅力を十分に語り合わせるために

(1) 十分な話し合いの成立 話し合いの社会的スキルが大事

一人一人の読み（思い）を伝え合う場面

- ・話型にこだわらず自分の言葉で話す フリートーキングのよさ
- ・自分のとらえたこと・感じたことには正誤はないので、何でも話することができる 安心感
- ・読みの視点が明確 自分の感じたこと・思いを持てる
- ・役割シートを読むのではなく、特に自分が伝えたいことを伝える。
- ・本を開いて提示・身振り・声の抑揚・相手に語りかける話し方など 伝え方の工夫。

話し合いが高まる場面

- ・相手の話を受けとめる姿勢

共感性

相手との距離・目線・

うなずく・表情・共感する言葉など

- ・話題の中に自分から入っていく。(司会者はいない)

同じ思い・考えをつけたす・別の考えを伝える・話題を広げるなど

- ・話し合いの話題や方向性に沿って話し合う。

話し合いの社会的スキルは、この單元だけの指導ではなく、普段の生活の中や他教科の学習の中でも意識して指導することで、力がついていく。

(2) 魅力ある本との出会いこそ 思いを引き出す・膨らませる

教師による選書の視点をはっきりさせる(本は何でもいいのではない)

テーマのはっきりしたもの

《例》友情・親子・家族・平和・命・成長など

同年代の登場人物

自分を投影・共感しやすい

話し合いのできる場面展開

後半にかけて盛り上がりのある展開

ページ数や字の大きさ

学年・学級の実態に応じて

教師が魅力を感じ、読ませたいと思うもの

この子どもたちに何を感じて欲しいのか など

子ども自身の選書とグループづくり

- ・本の表紙や裏表紙の提示・帯の紹介(教師によるブックトークも可)

原則的に子ども自身の希望(その本に惹かれる読みたい気持ちは大事)

- ・リテラチャーサークルの役割上4~6人で構成。

- ・話し合いが成立するメンバーであるために、教師による調整も必要となる。

魅力ある本の準備の仕方

- ・学校として適切な本を選定し、図書館備え付けにする。

30人学級であれば、6種類×5~6冊

- ・市内小学校からその都度借りる。

読書感想文の課題図書であれば、確保は十分可能。

- ・自分の気に入った本を一人一冊購入する。

学年当初に予算化して了承してもらう。

国語教科書の作品一覧<小学1年>

教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	おおきな かぶ(ロシアのお話)	うちだ りさこ	こどものとも傑作集「おおきなかぶ」	文学・詩
2	けんかした 山	安藤 美紀夫	書きおろし	文学・詩
3	てんとうむし	川崎 洋	どうぶつぶつぶつ	文学・詩
4	木	清水 たみ子	あまのじゃく	文学・詩
5	うみへのながいたび	今江 祥智	月間 MOE 8月号(通巻166号)	文学・詩
6	お手がみ	アーノルド＝ロ ベール	ミセスこどもの本「ふたりはともだち」	文学・詩
7	おじさんのかさ	佐野 洋子	銀河社の創作絵本「おじさんのかさ」	文学・詩
8	はたらくじどう車	編集委員会	小学館学習百科図鑑47「はたらく自動車」	説明文
9	みぶりでつたえる	野村 雅一	中公新書「身ぶりとしぐさの人類学」 / 10代の教養図書館7「ボディーランゲージの世界」	説明文

説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

紹介図書

No	作品名	著作者
1	お月さまってどんなあじ?	マイケル＝グレイニエツ
2	うごいちゃだめ!	エリカ＝シルヴァマン
3	ぞうのパパール1「ぞうのパパール」	ジャン＝ド＝ブリュノフ
4	岩波の子どもの本「ぞうさんのレレブム」	ビネッテ＝シュレーダー
5	おはなしパレード9「なぞなぞライオン」	佐々木 マキ
6	絵本・ちいさななかまたち「さかさまライオン」	内田 麟太郎
7	きいろいばけつ	森山 京
8	ともだちや	内田 麟太郎
9	はらぺこあおむし	エリック＝カール
10	岩波子どもの本「ひとまねこざるときいろいぼうし」	H.A.レイ
11	世界傑作絵本シリーズ「3びきのくま」	L.A.トルストイ
12	子どもの本「かにむかし」	木下 順二
13	大型絵本「くんちゃんのだいいりょう」	ドロシー＝マリノ

国語教科書の作品一覧<小学2年>

教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	つくし だれの子(わらべうた)	北原白秋編	日本伝承童謡集成 第二巻	文学・詩
2	おてだまうた(わらべうた)	松永伍一編	ジュニア版 目で見る日本の詩歌「わらべうた」	文学・詩
3	きつねのおきゃくさま	あまん みきこ		文学・詩
4	ちいさい おおきい	香山 美子	おはなしゆびさん	文学・詩
5	かさこじぞう	岩崎 京子		文学・詩
6	どっさりの ぼく	小林 純一	みつばちぶんぶん	文学・詩
7	アレクサンダとぜんまいねずみ	レオ=レオニ		文学・詩
8	わにのおじいさんのたからもの	川崎 洋	ぼうしをかぶったオニの子	文学・詩
9	すみれと あり	矢間 芳子	月刊 かがくのとも4「すみれとあり」	説明文
10	鳥の ちえ	樋口 広芳	鳥たちのふしぎ・不思議	説明文
11	さけが大きくなるまで	編集委員会	ジュニア写真動物記「サケ 川はぼくらのふるさとだ」(桜井淳史)	説明文
12	きつつき	編集委員会	手作りおもちゃ箱 全3巻(木村隆一)	説明文

説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

紹介図書

No	作品名	著作者
1	むかしむかし絵本2「やまんばのにしき」	松谷 みよ子
2	ありのごちそう	高家 博成
3	絵本図鑑シリーズ19「鳥の巣の本」	鈴木 まもる
4	科学のアルバム「アリの世界」	栗林 慧
5	ふしぎ発見シリーズ7「クロクサアリのひみつ」	山口 進久・保田 政雄 監修
6	ねぎぼうずのあさたろう その1「とうげのまちぶせ」	飯野 和好
7	あいうえおにぎり	ねじめ 正一
8	みるみる絵本「キャベツくん」	長 新太
9	こどものとも傑作集「おかえし」	村山 桂子
10	日本傑作絵本シリーズ「ドオン！」	山下 洋輔
11	えほんのもり「どんどん どんどん」	片山 健一
12	トコちゃんとタムくんのはなし	たかどの ほうこ
13	北欧民話「三びきのやぎのがらがらどん」	
14	あらしのよるに	木村 裕一
15	目をさませトラゴロウ	小沢 正
16	11びきのねこ	馬場 のぼる
17	王さまと九人のきょうだい	中国民話
18	エルマーのぼうけん	ルース=スタイルス=ガネット
19	こどものとも傑作選「だいくとおにろく」	まつい ただし
20	新・名作の愛蔵版8「目をさませトラゴロウ」	おざわ ただし
21	スイミー	レオ=レオニ

国語教科書の作品一覧〈小学3年〉

☆教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	かえるの ぴょん	谷川 俊太郎	「誰も知らない」国土社の詩の本18	文学・詩
2	かもつれっしや	有馬 敲	有馬敲少年詩集「ありがとう」詩の散歩道4	文学・詩
3	消しゴムころりん	岡田 淳	消しゴムころりん	文学・詩
4	わすれられないおくりもの	スーザン=バーレイ		文学・詩
5	夕日がせなかをおしている	阪田 寛夫	子ども図書館「ぼんこつマーチ」	文学・詩
6	ゆうひのてがみ	野呂 昶	少年詩集「おとのかだん」	文学・詩
7	いちばんぼし	まど・みちお	「まど・みちお全詩集」新訂版	文学・詩
8	のらねこ	三木 卓	ぼたぼた	文学・詩
9	おにたのぼうし	あまん きみこ		文学・詩
10	ソメコとオニ	斎藤 隆介	斎藤隆介全集1 八郎・モチモチの木	文学・詩
11	めだか	杉浦 宏	科学のアルバム「メダカのくらし」	説明文
12	森のスケーター やまね	湊 秋作	「森のスケーター ヤマネ」(湊秋作)	説明文
13	広い言葉、せまい言葉	福沢 周亮		説明文
14	くらしと絵文字	太田 幸夫	ピクトグラム[絵文字]デザイン	説明文

※説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

☆紹介図書

No	作品名	著作者
1	学研まんが・ひみつシリーズ13「魚のひみつ」	末廣 恭雄 監修
2	昆虫のふしぎパワー	海野 和男
3	大自然のふしぎ「動物の生態図鑑」	今泉 忠明 他
4	おもしろ! なつとく! 「なぜなぜ大辞典2」動物101	今泉 忠明 監修
5	タンタンの冒険旅行1「黒い島のひみつ」	エルジェ
6	どうわがいっぱい51「ペンギンたんていだん」	斉藤 洋一
7	大あらし	デイヴィッド=ウィーズナー
8	きつとみずのそば	石津 ちひろ
9	福音館創作童話シリーズ「もりのへなそうる」	渡辺 茂男
10	子どものための世界文学の森(25)「不思議の国のアリス」	ルイス=キャロル
11	カテリーナのふしぎなお話	エルサ=モランテ
12	「チムとゆうかんなせんちょうさん」チムシリーズ1	エドワード=アーディゾーニ
13	小さなスズナ姫「小さな山神スズナ姫」	リンドグレーン
14	福音館創作童話シリーズ「セロひきのゴーシュ」	宮沢 賢治
15	岩波少年文庫「グレイ・ラビットのおはなし」	アトリー
16	めいたんていネート「だいじなほこをとりかえせ」	マージョリー=ワインマン=シャーマット
17	児童文学創作シリーズ「ルドルフとイッパイアッテナ」	斎藤 洋

国語教科書の作品一覧〈小学4年〉

☆教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	春のうた	草野 心平	ジュニアポエム双書20「げんげと蛙」	文学・詩
2	やい、とかげ	舟崎 靖子	新選・子どもの文学・16<愛とまごころものがたり1>「ゾウのてぶくろのはなし」	文学・詩
3	あり	ロベール=デスノス	みんなで読む詩・ひとりで読む詩②「いきもののうた」	文学・詩
4	一つの花	今西 祐行	今西祐行全集 第四巻 一つの花	文学・詩
5	古池や……	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集70「松尾芭蕉集①」	文学・詩
6	閑さや……	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集70「松尾芭蕉集①」	文学・詩
7	名月や……	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集70「松尾芭蕉集①」	文学・詩
8	初しぐれ……	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集70「松尾芭蕉集①」	文学・詩
9	雪とけて……	小林 一茶	新編日本古典文学全集72「近世俳句俳文集」	文学・詩
10	やれ打な……	小林 一茶	古典俳文学大系15「一茶集」	文学・詩
11	名月を……	小林 一茶	古典俳文学大系15「一茶集」	文学・詩
12	うまそうな……	小林 一茶	古典俳文学大系15「一茶集」	文学・詩
13	へび／ミドリカナへび	ジュール=ルナール	ジュール=ルナール全集 5・6	文学・詩
14	ニンジン／ケムシ／ミミズ	まど・みちお	まど・みちを全詩集	文学・詩
15	おおきな木	島田 陽子	おおきに大阪	文学・詩
16	ホジャ物語(トルコの民話)	護 雅夫	ナスレッディン・ホジャ物語	文学・詩
17	アーファンティ物語(中国の民話)	中 由美子 再話	書きおろし	文学・詩
18	引っこし(朝鮮の民話)	李 錦玉 再話	書きおろし	文学・詩
19	ぞろぞろ	三遊亭 円窓	書きおろし	文学・詩
20	ごんぎつね	新美 南吉	校定 新美南吉全集 第三巻	文学・詩
21	こんなじゃんけん 知ってる?	川崎 洋	川崎洋詩集「しかられた神さま」	文学・詩
22	寿限無	三遊亭 円窓	書きおろし	文学・詩
23	花を見つける手がかり	吉原 順平	フォア文庫「生きものばんざい」	説明文
24	とんぼの楽園作り	森 清和	昆虫の研究「トンボの楽園」(杉村光俊)	説明文
25	アーチ橋の仕組み	小山田 了三	ものと人間の文化史66「橋」	説明文
26	便利ということ	太田 正己	岩波ジュニア新書「車いすから見た街」(村田稔)	説明文

※説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

☆紹介図書

No	作品名	著作者
1	今西祐行絵ぶんこ1「ぬまをわたるカワセミ」	今西 祐行
2	図解むかしのくらし⑤「行事と遊び」	田近洵一・次山信男 監修
3	わたしの研究「モンシロチョウの観察」	石井 象二郎
4	昆虫図鑑「花の虫さがし」	藤丸 篤夫
5	科学のアルバム10「アカトンボの一生」	まど・みちお
6	宇宙をみたよ!	松田素子／毛利衛 監修

7	杉原千畝物語	杉原幸子・松原弘樹
8	マザー・テレサーかぎりない愛の奉仕	沖 守弘
9	愛と勇気をあたえた人びと6「ライト兄弟」	リチャード=テーマズ
10	あしたにトライ	成田 真由美
11	20世紀のすてきな女性たち2「文に生きる絵に生きる」	越水 利江子 他
12	あかねノンフィクション6「手にことばをのせて—ある手話劇団の記録」	七尾 純
13	日本絵本傑作シリーズ「やまとゆきはら—白瀬南極探検隊」	関屋 敏隆
14	子どもに語るシリーズ「子どもに語るアジアの昔話(1・2)」	アジア地域共同出版計画会議企画
15	林家木久蔵の子ども落語 その1	林家 木久蔵
16	おもしろとんち話1「吉四六さんと庄屋さん」	富田 博之
17	中公新書「日本の方言地図」	徳川宗賢 編、松岡享子 訳
18	教科書に出てくる日本の名作童話5「モチモチの木」	滝 平二郎
19	かいじゅうたちのいるところ	モーリス=センダック

国語教科書の作品一覧<小学5年>

教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	うぐいす	武鹿 悦子	雲の窓	文学・詩
2	水平線	小泉 周二	海	文学・詩
3	五月になれば	加藤 多一	書きおろし	文学・詩
4	季節の中で もくれん	堀 明子	四季の色 堀明子詩集	文学・詩
5	大造じいさんとがん	椋 鳩十	椋鳩十の本 第十巻 山の太郎熊	文学・詩
6	郡読 声を重ねて あめ	山田 今次	行く手	文学・詩
7	はたはたのうた	室尾 犀星	底本 室尾犀星全詩集 第三巻	文学・詩
8	山のあなた	カールブッセ	現代訳詩集	文学・詩
9	素朴な琴	八木 重吉	八木重吉全詩集2	文学・詩
10	雪わたり	宮沢 賢治	校本 宮沢賢治全集 第十一巻	文学・詩
11	みずゝさがしの旅	矢崎 節夫	書きおろし	文学・詩
12	まんがの方法	石田 佐恵子	「マンガはなぜ面白いのか」(夏目房之介)	説明文
13	森を育てる炭作り	岸本 定吉	「炭の神秘」(岸本定吉監修)	説明文
14	日本語を考える	水谷 修	「話しことばと日本人」(水谷修)	説明文

説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

紹介図書

No	作品名	著作者
1	夢に近づく仕事の図鑑3「テレビやアニメが好き」	「仕事の図鑑」編集委員会
2	月岡先生の楽しいアニメ教室6「CMアニメはこうして作る」	月岡 貞夫
3	知りたい！なりたい！職業ガイド「アニメーションの仕事」ヴィットインターナショナル企画室 編	くさかべ まさみ
4	「スポーツシリーズ」野球	荒木 大輔
5	教育画劇の創作文学「バッテリー」	あさのあつこ / 佐藤真紀子 絵
6	栗山秀樹のスポーツおもしろランド2「スポーツのうそ・ほんと」	栗山 秀樹
7	ことばあそびをしよう	村田 栄一
8	ことばの探検 漢字・ひらがな・カタカナ「日本の文字のふしぎふしぎ」	古藤 友子
9	しゃべる詩 あそび詩 きこえる詩	波瀬 満子 編
10	おもしろくてやくにたつ子どもの伝記16「手塚治虫」	国松 俊英
11	にんげんの物語 21世紀の伝記シリーズ「手塚治虫マンガの宇宙へ旅立つ」	小野 耕世
12	岩波ジュニア新書「手塚治虫がねがったこと」	斎藤 次郎
13	こどものためのむかしばなし1「日本のむかしばなし」	瀬田 貞二
14	あなたが選んだ「21世紀に残したい沖縄の民話21話」	遠藤 庄治
15	銀のしずく降る降る 知里幸恵「アイヌ神謡集」より	知里幸恵 編訳 / 知里むつみ 修訳
16	はじめてであう日本の古典2「竹取物語 天人の琴ほか」	今西 祐行
17	新・となりの友達を考える本2「柳田国男遠野物語」	柳田国男 鷓飼九市 抄訳 高野玲子

国語教科書の作品一覧<小学5年>

18	「怪談」小泉八雲	山本 和夫 訳
19	日本の名作文庫「注文の多い料理店」	宮沢 賢治
20	宮沢賢治絵童話集1「どんぐりと山猫」	宮沢 賢治
21	フォア文庫「なめとこ山のくま」	宮沢 賢治
22	岩波少年文庫「冒険者たち」	斎藤 惇夫
23	偕成社の創作「二分間の冒険」	岡田 淳
24	ドリトル先生物語全集1「ドリトル先生アフリカゆき」	ロフティング
25	福音館の科学シリーズ「絵で読む広島原爆」	那須 正幹
26	現代・創作児童文学「ガラスのうさぎ」	高木 敏子
27	岩波少年文庫「あのころはフリードリヒがいた」	リヒター / 上田真而子 訳
28	のんびり転校生事件	後藤 竜二
29	少年少女小説傑作選「教室二〇五号」	大石 真
30	十二歳	椰月 美智子
31	子どもの文学・青い海シリーズ4「パパは専業主夫」	キルステン=ボイエ / 遠山明子 訳
32	名探偵シャーロック=ホームズ11「まだらのひも事件」	コナン=ドイル / 内田庶 訳
33	マガーク少年探偵団1「こちらマガーク探偵団」	ヒルディック / 落沢 忠枝 訳
34	フォア文庫「少女探偵事件ファイル」	砂田 弘
35	講談社青い鳥文庫「怪人二十面相」	江戸川 乱歩
36	岩波少年文庫「タイムマシン」	H.G.ウェルズ / 金原瑞人 訳
37	偕成社文庫「ポー怪奇・探偵小説集1」	エドガー=アラン=ポー / 谷崎精二 訳
38	星新一ショートショートセレクション「ねらわれた星」	星 新一
39	ULAの童謡集シリーズ「わたしと小鳥とすずと」	金子みすゞ
40	詩の散歩道8「どきん」	谷川 俊太郎
41	メロンのじかん	まど・みちお / 広瀬弦 絵
42	あかね創作えほん27「おかあさんの目」	あまん きみこ

国語教科書の作品一覧<小学6年>

教材文

No	作品名	著作者	出典	ジャンル
1	風景 純銀もざいく	山村 暮鳥	山村暮鳥全詩集	文学・詩
2	大木	原田 直友	すいっちょの歌	文学・詩
3	美月の夢	長崎 夏海	書きおろし	文学・詩
4	石走る……	志貴皇子	新編日本古典文学全集7 萬葉集	文学・詩
5	古池や……	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集70 松尾芭蕉集	文学・詩
6	たのしみは……	橘 曙覧	日本古典文学大系93 近世和歌集	文学・詩
7	両親の……	伊藤 左千夫	伊藤左千夫全短歌	文学・詩
8	たはむれに……	石川 啄木	啄木歌集	文学・詩
9	ひざの児の……	小林 一茶	一茶全集第一巻	文学・詩
10	万緑の……	中村 草田男	日本詩人全集31 水原秋桜子他	文学・詩
11	妹を……	黛 まどか	B面の夏	文学・詩
12	卒業の……	芝 不器男	蝸牛俳句文庫 「芝不器男」	文学・詩
13	田子の浦…	山部 赤人	新編日本古典文学全集6 萬葉集	文学・詩
14	この道の……	河東 碧梧桐	蝸牛俳句文庫 「河東碧梧桐」	文学・詩
15	東の野に……	柿本 人麻呂	新編日本古典文学全集6 萬葉集	文学・詩
16	菜の花や……	与謝 蕪村	新編日本古典文学全集72 近世俳句俳文集	文学・詩
17	かすみたつ……	良寛	日本古典文学大系93 近世和歌集	文学・詩
18	梅一輪……	服部 嵐雪	蝸牛俳句文庫 「服部嵐雪」	文学・詩
19	金色の……	与謝野 晶子	定本 与謝野晶子全集 第一巻	文学・詩
20	柿くへば……	正岡 子規	現代日本文学全集6 正岡子規 伊藤左千夫 長塚節集	文学・詩
21	芭蕉翁……	不詳	日本古典文学大系57 川柳狂歌集	文学・詩
22	はへば立て……	不詳	俳風柳多留全集 新装版四	文学・詩
23	まだももは……	不詳	俳風柳多留全集 新装版四	文学・詩
24	本降りに……	不詳	日本古典文学大系57 川柳狂歌集	文学・詩
25	川とノリオ	いぬい とみこ	理論社名作の愛蔵版「川とノリオ」	文学・詩
26	春暁	孟浩然	漢文大系二「箋註唐詩選」	文学・詩
27	春夜	蘇軾	宮良殿内文庫(琉球大学付属図書館蔵)	文学・詩
28	イナゴ	まど・みちお	まど・みちお全詩集	文学・詩
29	ペガサス	中尾 安一	現代少年詩集2000	文学・詩
30	きつねの窓	安房 直子	少年少女短編名作選「風と木の歌」	文学・詩
31	田中正造	来栖 良夫	書きおろし	文学・詩
32	支度	黒田 三郎	黒田三郎著作集 全詩集	文学・詩
33	ぼくの世界、きみの世界	西 研		説明文
34	人類よ、宇宙人になれ	立花 隆	「ザ・スペースエイジ1 二〇一四年 火星への遥かな旅」(NHK取材班)	説明文

国語教科書の作品一覧<小学6年>

35	ボランティアしあおうよ	松兼 功	「基礎から学ぶボランティアの理論と実践」(大阪ボランティア協会監修)	説明文
36	さるは「ココ」と鳴いていた	山口 仲美	犬は「びよ」と鳴いていた 日本語は擬音・擬態語が面白い(山口仲美)	説明文

説明文の教材はすべて書きおろしのため、「出典」欄は参考図書。

紹介図書

No	作 品 名	著 作 者
1	For Junior Books「自分らしく生きてみないか」	安来晴実・悦子
2	自分探しの旅シリーズ5「自分は自分、他人じゃない」	吉本 由美
3	「自分の木」の下で	大江 健三郎
4	ぼくを探しに	シルヴァスタイン/倉橋由美子 訳
5	自分探しの旅シリーズ13「ひとりじゃないよ一緒に」	倉本 由布
6	しらんぷり	梅田 俊作・佳子
7	ちくまプリマーブックス「友だちは無駄である」	佐野 洋子
8	子どものための哲学対話	永井 均
9	子どものためのライフスタイル「考える練習をしよう」	バーンズ/左京久代 訳
10	常識より科学へ5「なぜと問うのはなぜだろう」	吉田 夏彦
11	岩波文庫「君たちはどう生きるか」	吉野 源三郎
12	こころ・からだ・いのち3「自立ってなんだろう」	北沢 杏子
13	福音館日曜日文庫「TN君の伝記」	なだ いなだ
14	かぎりなくやさしい花々	星野 富弘
15	岩波少年文庫「ライオンと魔女(ナルニア国物語1)」	C=S=ルイス/瀬田貞二 訳
16	霧のむこうのふしぎな国	柏葉 幸子
17	モモ	ミハエル=エンデ/大島かおり 訳
18	声が聞こえたで始まる七つのミステリー	小森 香折
19	新潮文庫「夕鶴・彦市とんちばなし」	木下 順二
20	新日本おはなしの本だな 4「シンタのあめりか物語」	八束 澄子
21	くもんのノンフィクション 愛のシリーズ25「ブータンの朝日に夢をのせて」	木暮 正夫
22	あかねノンフィクション12「国境をこえた子どもたち」	今西 乃子
23	世界の子どもたち 世界をむすぶぼくの声わたしの声	アナベル=キングスリー・バーナバス=キングスリー 編
24	国際理解に役立つ世界の衣食住8「世界の学校」	小野沢 啓子
25	講談社青い鳥文庫「トットちゃんとトットちゃんたち」	黒柳 徹子
26	炎の秘密	ヘニング=マンケル オスター/グレン晴子 訳
27	子どもドキュメント4「パウラちゃんのニッポン日記」	高橋 幸春

国語教科書の作品一覧<中学1年>

☆教材文

No	作品名	著作者	出典	備考(その他の著書等)
1	ふしぎ	金子 みすゞ	わたしと小鳥とすずと	詩「大漁」「あした」「星とたんぽぽ」「わたしと小鳥とすずと」
2	動物の睡眠と暮らし	加藤 由子	書きおろし	「クジラも海でおぼれるの?」「ゾウの鼻はなぜ長い」「猫の気持ちを聞いてごらん」
3	オツベルと象	宮澤 賢治	新校本 宮澤賢治全集 第十二巻	詩集「春と修羅」、童話「注文の多い料理店」「銀河鉄道の夜」
4	言葉はかわっていくけれど	清水 義範	行儀よくしろ	「国語入試問題必勝法」「蕎麦ときしめん」「永遠のジャック&ベティ」「普及版日本文学全集第一・二集」
5	テレビ言葉の「聴き方」	梶原 しげる	口のきき方	
6	今どきの言葉づかい	金田一 秀穂	新しい日本語の予習法	「写真パネルバンク」
7	河童と蛙	草野 心平	げんげと蛙	「第百階級」「絶景」「定本 蛙」「草野心平全集」
8	詩の楽しみ	吉野 弘		
9	詩のころを讀む	茨木 のり子		
10	詩は友人を数える方法	長田 弘		
11	竹取物語		日本古典文学大系9竹取物語 伊勢物語 大和物	
12	ものづくりの知恵	小関 智弘	書きおろし	「粋な旋盤工」「大森界限職人往来」「ものづくりに生きる」「職人学」
13	少年の日の思い出	ヘルマン=ヘッセ	ヘッセ全集2車輪の下	詩集「青春詩集」「孤独者の音楽」、小説「車輪の下」「デミアン」
14	ベンチ	リヒター	あそこはフリードリヒがいた	「ぼくたちもそこにいた」「若い兵士のとき」
15	花の詩画集	星野 富弘	鈴の鳴る道、花よりも小さく	
16	僕等の時代	小田 和正	アルバム「We are」より	
17	誕生	中島 みゆき	アルバム「大吟醸」より	
18	春	安西 冬衛	安西冬衛全集 第一巻	「軍艦茉莉」「座せる闘牛士」
19	枇杷のたね	竹久 夢二	竹久夢二文学館 第二巻	「宵待草」
20	虫	八木 重吉	定本八木重吉詩集	「秋の瞳」「貧しき信徒」
21	雪	三好 達治	現代詩文庫1038三好達治	「測量船」「艸千里」「駱駝の瘤にまたがって」
22	わたしの好きな春の言葉	俵 万智	かすみ草のおねえさん	歌集「サラダ記念日」「チョコレート革命」、著書「あなたと読む恋の歌百首」「りんごの涙」
23	蠍座カレンダー	薄井 ゆうじ	12の星の物語	「残像少年」「樹の上の草魚」「十四歳漂流」「十二支の童」
24	デューク	江國 香織	つめたいよるに	「きらきらひかる」「こうばしい日々」「神様のボート」「号泣する準備はできていた」
25	風少年	小檜山 博	風少年	「出刃」「光る大雪」「北ぐにの人生」「人生という旅」
26	狂言と漢字	野村 萬斎	狂言サイボーグ	「萬斎でござる」「野村萬斎 What is 狂言?」
27	まだ言葉にないものを描く	井上 直久	書きおろし	絵本「イバラードの旅」
28	絨毯の上のカブトムシ	日比野 克彦	書きおろし	100の指令

☆紹介図書

No	作 品 名	著 作 者
1	てつがくのライオン	工藤 直子
2	春とおないどし	新川 和江
3	時間割にない時間	木村 信子
4	法隆寺を支えた木	西岡 常一
5	「しぶとい」モノ作り	山根 一眞
6	人づくり・ものづくり・夢づくり	前田 又兵衛
7	ツルはなぜ一本足で眠るのか	小原 秀雄
8	ゾウの時間ネズミの時間	本川 達雄
9	動物の「超」ひみつを知ろう	ジュディス＝ハーブスト
10	星からの1通話	黒井 千次
11	風と木の歌	安房 直子
12	黒い郵便船	別役 実
13	探検！ことばの世界	大津 由紀雄
14	日本語練習帳	大野 晋
15	日本語反省帳	岩淵 匡
16	完璧に使いこなしたい日本語	宇野 義方
17	心を伝える日本語講座	水谷 信子
18	モモ	ミヒヤエル＝デンデ
19	指輪物語	J＝R＝R＝トールキン
20	オー＝ヘンリー傑作選	オー＝ヘンリー
21	アンネの日記	アンネ＝フランク
22	ハンナのかばん	カレン＝レビン
23	テレジンの小さな画家たち	野村 路子
24	コルチャック先生	近藤 康子
25	約束の国への長い旅	篠 輝久
26	エプロンはずして夢の山	田部井 淳子
27	きみのそばにダニがいる	青木 淳一
28	恐竜の足あと	井尻正二・真野勝友
29	子どものしあわせのための約束	クリネット 徳島
30	自由のたびびと南方熊楠	三田村 信行
31	女性の権利	赤松 良子
32	パパは専業主夫	キルステン＝ボイエ
33	ファーブル昆虫記	ジャン＝アンリ＝ファーブル
34	兎の眼	灰谷 健次郎
35	古事記物語	福永 武彦
36	砂のお城の王女たち	赤川 次郎
37	そこに僕はいた	辻 仁成
38	夏の庭	湯本 香樹美
39	ナンちゃん雲に乗る	石井 桃子
40	赤毛のアン	ルーシー＝モンゴメリ
41	あしながおじさん	ジーン＝ウェブスター
42	ゲド戦記	アーシュラ・K・ル＝グウィン
43	ハックルベリー・フィンの冒険	マーク＝トウェイン
44	プラテローとわたし	フワン＝ヒネメス
45	星の王子さま	サン＝テグジュペリ
46	ゆき	T＝マーヴリナ
47	リトル・トリー	フォレスト＝カーター

国語教科書の作品一覧 < 中学2年 >

教材文				
No	作 品 名	作者名	出 典	備考(その他の著書等)
1	虹の足	吉野 弘	新選現代詩文庫121新選 吉野弘詩集	「消息」「幻・方法」「鑑賞旅行」 「北入曾」「叙景」
2	平家物語		新編日本古典文学全集 45～46 平家物語 ～	
3	論語		漢文体系 第一巻	
4	知ることの魅力	半田 智久	書きおろし	「知能環境論」「知能のスーパー パストリーム」「脳:心のプ ラットホーム」
5	夏の葬列	山川 方夫	山川方夫全集 第四巻 愛のごとく	「日々の死」「海岸公園」
6	人に優しい町づくり	村田 稔	車イスから見た街	「車イスから見た街」
7		斎藤 茂吉		歌集「赤光」「あらたま」「白き 山」、評論「柿本人麻呂」
8		石川 啄木		歌集「一握の砂」「悲しき玩 具」、詩集「あこがれ」「呼子と
9		若山 牧水		「別離」「山桜の歌」「路上」
10		与謝野 晶子		歌集「みだれ髪」「舞姫」、詩集 「晶子詩篇全集」
11	枕草子	清少納言	新編日本古典文学全集 18 枕草子	
12	徒然草	兼好法師	新編日本古典文学全集 44 方丈記 徒然草 正 法眼蔵随聞記 歎異抄	
13	ガイアの知性	龍村 仁	書きおろし	「地球のささやき」「地球交響 曲第三番 魂の旅」
14	形	菊池 寛	菊池寛全集 第二巻	「無名作家の日記」「恩讐の彼 方に」、戯曲「父帰る」
15	「永日小品」より	夏目 漱石	夢十夜他二篇	「吾輩は猫である」「坊っちゃん」 「草枕」「三四郎」、評論「現 代日本の開化」
16	季節をうたう	照屋 林賢	雑誌「翼の王国」1990年4 月号	
17	麗日	一戸 謙三	方言詩集 津軽の詩	「ねふた」「歴年」「椿の宮」「現 身」
18	手	山村 暮鳥	山村暮鳥全集 第一巻	「風は草木にささやいた」「雲」 「梢の巢にて」
19	蜻蛉に寄す	中原 中也	中原中也詩集	「山羊の歌」「在りし日の歌」
20	メール	荒川 洋治	忘れられる過去	詩集「空中の茱萸」「荒川洋治 全詩集」、評論集「夜のある町 で」「日記をつける」
21	手紙について	高村 薫	半眼訥々	「黄金を抱いて翔べ」「リビエ ラを撃て」「マークスの山」「レ ディー・ジョーカー」
22	走れメロス	太宰 治	太宰治全集 第三巻	「富嶽百景」「津軽」「お伽草 子」「斜陽」「人間失格」
23	「わたし」のことを知っていますか	香山 リカ	書きおろし	「じぶんを愛するということ」 「若者の法則」「サヨナラ、あき らめられない症候群」「就職が こわい」
24	悠久の自然	星野 道夫	長い旅の途上	写真集「Alaska風のような物 語」「Alaska-極北・生命の地図 -」、エッセイ「アラスカ 光と風」 「旅をする木」

国語教科書の作品一覧 < 中学2年 >

25	言葉の達人になろう	鴻上 尚史	書きおろし	戯曲「朝日のような夕日をつれて」「スナフキンの手紙」「ファントムペイン」「天使は瞳を閉じて」、著書「あなたの魅力を演出するちょっとしたヒント」「発声と身体のレッスン」
26	言葉の仕事	ジョン・カピラ	書きおろし	

紹介図書

No	作 品 名	著 作 者
1	ばんがれまーち	坂田 寛夫
2	つけもののおもしろ	まど・みちお
3	しかられた神さま	川崎 洋
4	情報ってなんだろう	春木 良且
5	知の編集術	松岡 正剛
6	ユビキタス・コンピュータ革命	坂村 健
7	魔術	芥川 龍之介
8	空飛ぶ馬	北村 薫
9	そして誰もいなくなった	アガサ＝クリスティ
10	バリアフリーを作る	光野 勇次
11	こころの段差にスロープを	松兼 功
12	音楽でバリアを打ち壊せ	菊地 昭典
13	高齢化社会ときみたち	三浦 文夫
14	アルジャーノンに花束を	ダニエル＝キース
15	短歌をつくろう	佐々木 幸綱
16	サラダ記念日	依 万智
17	ラインマーカーズ	穂村 弘
18	旅をする木	星野 道夫
19	夏の朝の成層圏	池澤 夏樹
20	風の谷のナウシカ	宮崎 駿
21	掌の小説	川端 康成
22	清兵衛と瓢箪	志賀 直哉
23	笑う月	安部 公房
24	高瀬舟	森 鷗外
25	羅生門・鼻・芋粥	芥川 龍之介
26	にぎりえ・たけくらべ	樋口 一葉
27	人間失格	太宰 治
28	うるしの文化	藤澤 保子
29	科学とスポーツ	ガードナー＝R＝ロバー
30	自分を好きになる本	パット＝バルマー
31	出会いと物語	工藤 直子
32	テレビゲームと癒し	香山 リカ
33	ドッグ・シェルター	今西 乃子
34	ピーターラビットの田園から	NHK取材班
35	ブッタとシッタカブッタ	小泉 吉宏
36	八重山の戦争	大田 静男
37	キューボラのある街	早船 ちよ
38	今昔ものがたり	杉浦 明平
39	十六桜 小泉八雲怪談集	小泉 八雲
40	鉄道員(ぼっばや)	浅田 次郎
41	寺山修司少女詩集	寺山 修司
42	夏草冬濤	井上 靖
43	二十四の瞳	壺井 栄
44	木を植えた男	ジャン＝ジオノ
45	西遊記	呉 承恩
46	ザ・ギバー	ロイス＝ローリー
47	トムは真夜中の庭で	フィリパ＝ピアス
48	ヘンリー・シュガーのわくわくする話	ロアルド＝ダール
49	ぼくを探しに	シェル＝シルヴァスタイン

国語教科書の作品一覧< 中学3年 >

教材文

No	作 品 名	著 作 者	出 典	備考(その他の著書等)
1	春に	谷川俊太郎	谷川俊太郎少年詩集 どきん	詩集「みみをすます」「ことばあそびうた」「はだか」、翻訳「マザーグースのうた」「ピーナツ
2	おくのほそ道	松尾 芭蕉	新編日本古典文学全集 71松尾芭蕉集	
3	「新しい博物学」の時代	池内 了	書き下ろし	「科学は今どうなっているの?」「宇宙論のすべて」「観測的宇宙論」
4	ウミガメと少年	野坂 昭如	ウミガメと少年	「火垂るの墓」「文壇」
5	タンザニアの名もない村の村長さんのいった言葉	黒柳 徹子	トットちゃんとトットちゃんたち	「窓ぎわのトットちゃん」「トットチャンネル」「つば広の帽子をかぶって」
6	万葉集	持統天皇 他	新編日本古典文学全集6 ~9・萬葉集1~4	
7	古今和歌集	紀 貫之 他	新編日本古典文学全集 11・古今和歌集	
8	新古今和歌集	西行法師 他	新編日本古典文学全集 43・新古今和歌集	
9	黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る	李白	漢詩大系7唐詩選 下	
10	春望	杜甫	漢詩大系9 杜甫	
11	言葉の力	池田 晶子	書き下ろし	「考える人」「帰ってきたソクラテス」「14歳からの哲学」
12	故郷	魯迅	魯迅文学全集 第一巻	「狂人日記」「阿Q正伝」
13	バースデイ・ガール	村上 春樹	バースデイ・ストーリーズ	「風の歌を聴け」「ノルウェイの森」「ねじまき鳥クロニクル」「海辺のカフカ」
14	ぼろぼろな駝鳥	高村光太郎	高村光太郎全集 第二巻	「道程」「智恵子抄」「典型」
15	初恋	島崎 藤村	藤村全集 第一巻	小説「破戒」「春」「家」「夜明け前」、詩集「若菜集」
16	語り継ぐもの	吉永小百合	書き下ろし	「夢一途」「吉永小百合街もの
17	永遠のみどり	原 民喜	定本 原民喜全集	詩集「原民喜詩集」、小説「夏の花」「心願の国」
18	素顔同盟	すやまたけし	火星の砂時計	「帆船の守り」「ナーガラ町の物語」
19	蠟燭の光	川上 弘美	なんとなくな日々	「蛇を踏む」「神様」「椰子・椰子」「溺れる」「竜宮」「光って見えるもの、あれは」
20	わたしが哀号とつばやくとき	五木 寛之	ゴキブリの歌	小説「青春の門」「風の王国」、エッセイ「大河の一滴」「風に吹かれて」「他力」
21	それはトンボの頭だった	穂村 弘	書き下ろし	歌集「シンジケート」「手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)」、短歌入門書「短歌という
22	人はなぜ書くのか	汐見 稔幸	書き下ろし	「学校の再生をめざして」「教育」からの脱皮」「元気になる中学生の本」「親子ストレス」
23	心が揺れるほうが主役だ	イッセー尾形	書き下ろし	戯曲集「本人の希望」「イッセー尾形のナマ本1~4)、エッセイ「正解ご無用」、小説「空の穴」「月の砂」「いつか、スパゲティ」「とりあえずの愛」

国語教科書の作品一覧< 中学3年 >

紹介図書

No	作 品 名	著 作 者
1	黒田三郎詩集	黒田 三郎
2	山之口獏詩集	山之口 獏
3	夢の岸辺	小海 永二
4	科学と科学者のはなし	寺田 寅彦
5	遺跡が語る日本人の暮らし	佐原 誠
6	想像力の地球旅行	荒俣 宏
7	ひめゆりの塔	石野径一郎
8	はだしのゲン	中沢 啓治
9	黒い雨	井伏 鱒二
10	いま、アジアの子どもたちは	吉田ルイ子
11	ともだち	長倉 洋海
12	子どもたちの戦争	マリア=オーセイミ
13	悪魔の兵器・地雷	名倉 睦生
14	あなたが世界を変える日	セヴァン・カリス=スズキ
15	俳句って何？	石 寒太
16	坪内稔典句集	坪内 稔典
17	恋する俳句	黛 まどか
18	子どものための哲学対話	永井 均
19	哲学のモノサシ	西 研
20	哲学の冒険	内山 節
21	赤いコーリャン	ヤー=ディン
22	山の郵便配達	ポン=ジュンミン
23	半分のふるさと	イ=サンクム
24	キッチン	吉本ばなな
25	晩年の子供	山田 詠美
26	ゆめうつ草紙	原田 宗典
27	そこに僕はいた	辻 仁成
28	エイジ	重松 清
29	一本の樹からはじまった	土岐小百合
30	運命の海に出会って~レイチェル=カーソン	マーティ=ジェサー
31	演劇入門	平田オリザ
32	尾瀬をまもる人々	後藤 允
33	にっぽん虫の眼紀行	毛 丹青
34	自分でできる情報検索	藤田 節子
35	白神山地	鈴木喜代春
36	一九四一年十二月八日	江口 圭一
37	リアスの海辺から	島山 重篤
38	わたしは歌う	ミリアム=マケバ・ジェームス=ホール
39	カラフル	森 絵都
40	九月の空	高橋三千綱
41	潮騒	三島由紀夫
42	多毛留	米倉齊加年
43	僕って何	三田 誠広
44	夕鶴・彦市ばなし	木下 順二
45	かもめのジョナサン	リチャード=バック
46	三国志	羅 貫中
47	ジーキル博士とハイド氏	スティーブンソン
48	ゼバスチアンからの電話	コルシュノフ=
49	ゆがめられた記憶	マーガレット=マーヒー
50	老人と海	アーネスト=ヘミングウェイ

学校における子どもの読書活動推進のための調査研究員会

研究員長 佐藤 紀之（山形市立第一中学校）

研究員（五十音順）

有路 智子（山形市立第一中学校）

太田 祐子（山形市立滝山小学校）

鈴木 修（山形市立西小学校）

高橋 章（山形市立桜田小学校）

藤澤 元（山形市立第四中学校）